

本物の芸能を間近で体験



9月7日(木)、市民会館で寄席芸能の公演があり、市内の小学生約750人が落語や紙切りなど生の舞台芸能を鑑賞しました。これは、子どもたちが優れた芸術を鑑賞することで、心豊かに、健やかに成長することを目的に行われている「本物の舞台芸術体験事業」の一環として行っているもので、児童たちは客寄せのため鳴らす一番太鼓を体験。また、はさみ一つで1枚の紙を動物などの形に切り抜く「紙切り」の妙技に歓声をあげたり、落語の絶妙な語りや落ちに大爆笑したりしていました。

青谷高等学校

身近な音楽をテーマに意見交換

9月8日(金)、「21世紀に生きるアジアの一員として～私たちの生活と音楽」をテーマに「第11回日・中・韓高校生国際シンポジウム」が県立青谷高等学校の体育館で開催されました。シンポジウムでは日本、中国、韓国の高校生が、それぞれの国の音楽の楽しみ方やとらえ方などについて意見発表を行いました。各校の代表者からは「音楽には多くの人を結びつける力がある」「音楽は重要な人生の活力源」などの意見が出されました。また、シンポジウム終了後は、それぞれの国の伝統芸能が披露され、会議に花を添えました。



白兔グラウンドゴルフ場

一打一打が真剣勝負



9月5日(火)、「市民総スポーツまつり運動第21回グラウンドゴルフ大会」が白兔グラウンドゴルフ場で開催されました。これは、鳥取市市民運動推進協議会(森西辰良会長)が、健康な体をつくるとともに広く市民相互の交流を図ろうと毎年開催しているもので、今年は参加者最高齢の谷重幸さん(94歳)をはじめ439人が出場。仲間同士で一打一打に歓声を上げながら笑顔で16ホールをまわり、心地よい汗を流しました。

鹿野地区保健センター

鹿野地鶏でめんそーれ!

パレットとっとり

笑う門には客来たる

8月26日(土)・27日(日)、弥生町にあるパレットとっとりで「第2回わらい地蔵まつり」が開催されました。わらい地蔵は、パレットとっとり2階に祭られている笑いと福を運んでくると言われるお地蔵様



で、祭りの期間中はこのわらい地蔵の姿が焼き付けられた特大のせんべいが買い物客に配られました。また、マグロの解体実演・即売のほか、地蔵スタンプを集めた人には総額20万円分の商品券が当たるガラポン抽選会なども行われ、多くの買い物客でにぎわいました。

9月9日(土)、鹿野地区保健センターで「匠に学ぶ男の料理教室」が開催されました。これは、男性の料理技術の向上と家事への参画を促すことを目的に年4回開催されているもので、今回は「めんそーれ!元気をもら



う沖縄料理&鹿野名物料理に挑戦編」と題して、鹿野地鶏とゴーヤのサラダや冷やし中華風鹿野そばなどを作りました。講師の佐々木ターミーさんは「楽しみながら料理を作ることが大切です。先入観を持たずいろいろな調理方法や食材を使うことで、料理づくりはとっても楽しくなります。家庭でも積極的にチャレンジして下さい」と話し、集まった参加者は家事全般における男女共同参画の意識を高めました。